

○令和2年度就労ボランティア体験事業委託業務 質問に対する回答

No.	質 疑	回 答	回答日
1	<p>平成30年度と平成31年度の就労ボランティア体験事業の実績について</p> <p>① 年齢別の参加人数 ② 区ごとの参加人数 ③ 月ごとの参加人数と開始した人数 ④ 就労体験の参加人数 ⑤ ボランティア体験の参加人数 ⑥ 2箇所以上ボランティアを体験した人数 ⑦ ボランティア体験と就労体験の両方を利用した人数 ⑧ セミナーや講座の実施内容と開催回数、開催ごとの参加人数 ⑨ 参加途中の終了人数とその事例 ⑩ 就職(アルバイト、パート含む)した件数</p>	<p>・ 実績①、②、③、⑧、⑨については別添資料のとおりです。 ・ ④と⑤について、参加人数は集計しておりませんが、実施回数は別添資料のとおりです。 ・ ⑥、⑦については把握しておりません。</p> <p>・ ⑨の事例については、本事業参加の段階では段階的に就労を目指すことが可能と判断されていたものの、参加中の病状悪化等により、就労を目指す状態ではなくなった例などが挙げられます。</p>	R2.1.17
2	<p>平成30年度と平成31年度の就労ボランティア体験事業の参加者のうち、生活保護の被保護者の参加について</p> <p>⑪ 参加時の生活保護の受給年数 ⑫ 支援機関が1年を超えた参加者の人数 ⑬ 若者サポートステーションに登録している参加者の人数 ⑭ 参加後に認定就労訓練事業に進んだ人数 ⑮ 参加者の自宅等にアウトリーチを行った件数</p>	<p>⑪～⑬、⑮については把握しておりません。 ⑭はH30年度で1名、H31年度も1名です。</p>	R2.1.17
3	<p>平成31年度までの就労体験やボランティア体験等の協力事業所、及びその候補先事業所の情報は、令和2年度事業に引き継がれますか。</p>	<p>引き継がれます。</p>	R2.1.17
4	<p>今後の就労ボランティア体験事業の連携先として、どのような機関を想定していますか。</p>	<p>区役所保護課、自立相談支援事業所(札幌市生活就労支援センターステップ、札幌市ホームレス支援センターJOIN)、ボランティアの受け入れ先の協力事業所等を連携先として想定しています。 その他、生活困窮者の事業利用促進やボランティア体験の内容拡充等を目的に、関係各所との連携を強化することを検討しております。</p>	R2.1.17